

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>マネーバジャー・ツアー</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.570</b>	△RG <b>0.044</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：マネーバジャー・ツアー**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番

**比較対照ボール：ハニーバジャー・ディービー**

フレアーの幅  インチ

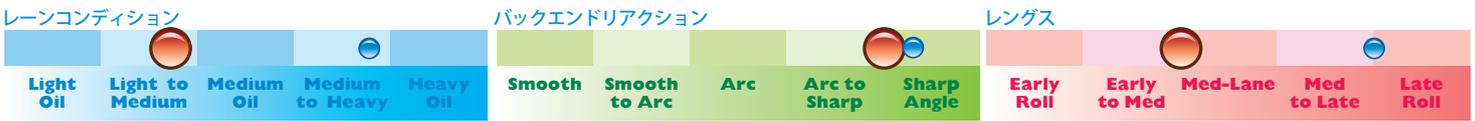
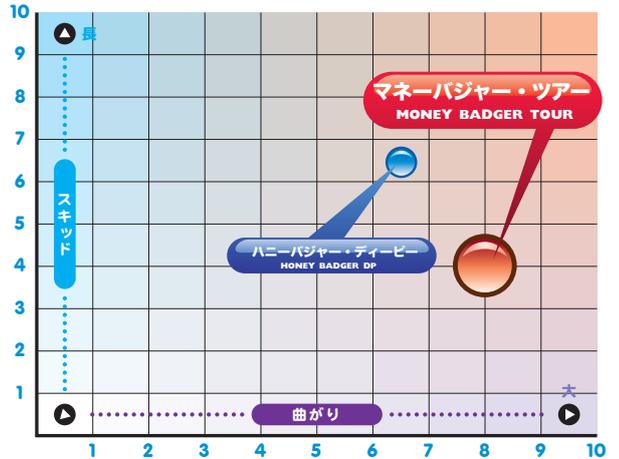
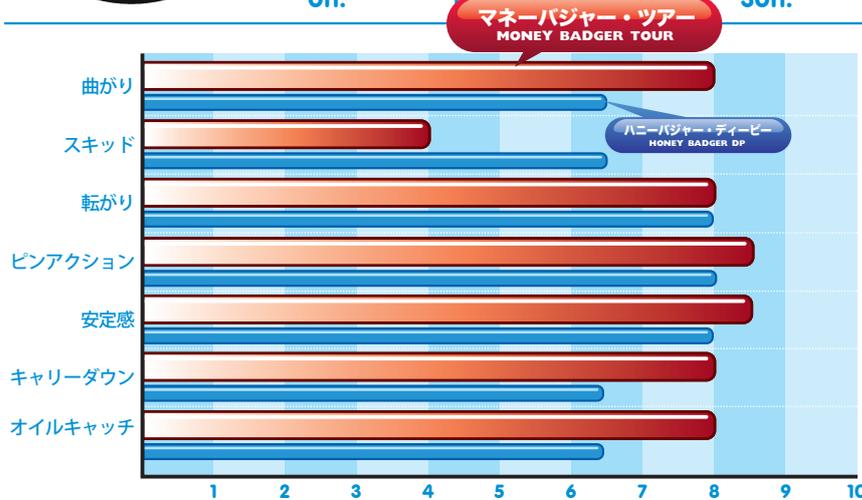
PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

S20からS86カバーストックまで幅広い領域を手掛ける900Global社。今回のMONEY BADGER TOURは、S78カバーを新たに加え、Solid素材でパフォーマンス勝負を仕掛けてきました。コアはHONEYシリーズでもHONEYの領域を遥かに超えて、逆にオイルがないと使い辛いほどの性能に仕上がっていますのでご紹介します。

900Globalの主力モデルはS70カバーストックから71、72、74、76の5種類がメインですが、今回MONEY BADGER TOURに採用されたのはS78リアクティブ。このボールが開発された意図は、先で動きが出せるHONEY BADGER系統の特性をそのままに、よりオイルに強くさせながら同時にHONEY BADGERらしい動きをだそうという試みが活かしている製品ではないかと思えます。今までHONEY BADGERといえばS71カバーストックでミディアムライト領域が主でしたが、S78カバーでSolid素材のHONEY BADGERは初めてです。テストドライブでの第一印象は「キャッチと先の動きが双方強い」と思ったこと。

ただHONEY BADGERで強いモデルを作ったという単純なものではなく、キッチリと計算されて製品化されているのが運動性能でわかります。キャッチの強さを出すために必要な強さと表面加工、素材そのものもこだわり、HONEYシリーズには欠かせないGrapnel Asymmetricコアも上下を入れ替えて△RGまでも変化させています。特に比較投球動画内でも見て頂けるとわかりますが、キッチリとすみ分けが出来ていますので、同じコンディションでも2通りのラインをみて頂けるでしょう。

MONEYなのかHONEYのラインの選択は、皆さんにもこれぐらいの差を味わって頂けることが可能だと思えます。

Solid素材だからメリハリが足りないというような先入観はMONEY BADGER TOURには当てはまりません。

ある意味同じコアを使用しているからこそ、リアクションのイメージを変えないでコンディションに望めるとも言えると思えます。

### 特記事項

**S78カバーを新たに加え、オイルが多いコンディションでも積極的に攻めることのできる性能に仕上がっていると思えます。特にオイルにも強く、先の動きが強調されていますので、入射角を強めに欲しい方は必見です。**